

13

[筑波大]

- xy 平面上に楕円 $C_1 : \frac{x^2}{a^2} + \frac{y^2}{9} = 1$ ($a > \sqrt{13}$), および双曲線 $C_2 : \frac{x^2}{4} - \frac{y^2}{b^2} = 1$ ($b > 0$)
 があり, C_1 と C_2 は同一の焦点をもつとする。また C_1 と C_2 の交点 $P\left(2\sqrt{1+\frac{t^2}{b^2}}, t\right)$
 ($t > 0$) における C_1, C_2 の接線をそれぞれ l_1, l_2 とする。
- (1) a と b の間に成り立つ関係式を求め, 点 P の座標を a を用いて表せ。
 - (2) l_1 と l_2 が直交することを示せ。
 - (3) a が $a > \sqrt{13}$ を満たしながら動くときの点 P の軌跡を図示せよ。

13

[筑波大]

(1) 楕円 $C_1: \frac{x^2}{a^2} + \frac{y^2}{9} = 1$ ($a > \sqrt{13}$) ……①の焦点の座標は $(\pm\sqrt{a^2-9}, 0)$ であり、

双曲線 $C_2: \frac{x^2}{4} - \frac{y^2}{b^2} = 1$ ($b > 0$) ……②の焦点の座標は $(\pm\sqrt{4+b^2}, 0)$ である。

条件より、 $\sqrt{a^2-9} = \sqrt{4+b^2}$ から、 $a^2-9 = 4+b^2$ 、 $a^2-b^2 = 13$ ……③

また、 C_1 と C_2 の第 1 象限の交点 $P(s, t)$ は、①②より、

$$\frac{s^2}{a^2} + \frac{t^2}{9} = 1 \dots\dots\dots④, \quad \frac{s^2}{4} - \frac{t^2}{b^2} = 1 \dots\dots\dots⑤$$

④⑤より、 $9s^2 + a^2t^2 = 9a^2$ 、 $b^2s^2 - 4t^2 = 4b^2$ となり、

$$\begin{pmatrix} 9 & a^2 \\ b^2 & -4 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} s^2 \\ t^2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 9a^2 \\ 4b^2 \end{pmatrix}, \quad \begin{pmatrix} s^2 \\ t^2 \end{pmatrix} = \frac{1}{-36 - a^2b^2} \begin{pmatrix} -4 & -a^2 \\ -b^2 & 9 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 9a^2 \\ 4b^2 \end{pmatrix}$$

③を代入すると、

$$\begin{aligned} \begin{pmatrix} s^2 \\ t^2 \end{pmatrix} &= \frac{1}{36 + a^2b^2} \begin{pmatrix} 36a^2 + 4a^2b^2 \\ 9a^2b^2 - 36b^2 \end{pmatrix} = \frac{1}{36 + a^2(a^2-13)} \begin{pmatrix} 4a^2(9+a^2-13) \\ 9(a^2-4)(a^2-13) \end{pmatrix} \\ &= \frac{1}{(a^2-4)(a^2-9)} \begin{pmatrix} 4a^2(a^2-4) \\ 9(a^2-4)(a^2-13) \end{pmatrix} = \frac{1}{a^2-9} \begin{pmatrix} 4a^2 \\ 9(a^2-13) \end{pmatrix} \end{aligned}$$

これより、 $s = \frac{2a}{\sqrt{a^2-9}}$ 、 $t = \frac{3\sqrt{a^2-13}}{\sqrt{a^2-9}}$ となり、 $P\left(\frac{2a}{\sqrt{a^2-9}}, \frac{3\sqrt{a^2-13}}{\sqrt{a^2-9}}\right)$

(2) $P(s, t)$ における C_1 の接線 l_1 、 C_2 の接線 l_2 の法線ベクトルを、それぞれ \vec{n}_1 、 \vec{n}_2 とおくと、 $\vec{n}_1 = \left(\frac{s}{a^2}, \frac{t}{9}\right)$ 、 $\vec{n}_2 = \left(\frac{s}{4}, -\frac{t}{b^2}\right)$ となり、(1)から、

$$\vec{n}_1 \cdot \vec{n}_2 = \frac{s^2}{4a^2} - \frac{t^2}{9b^2} = \frac{4a^2}{4a^2(a^2-9)} - \frac{9(a^2-13)}{9(a^2-13)(a^2-9)} = 0$$

よって、 l_1 と l_2 は直交する。

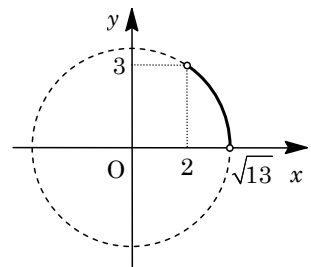
(3) (1)より、 $s^2 = \frac{4a^2}{a^2-9} = 4 + \frac{36}{a^2-9}$ 、 $t^2 = \frac{9(a^2-13)}{a^2-9} = 9 - \frac{36}{a^2-9}$

これより、 $s^2 + t^2 = 13$

また、 $a > \sqrt{13}$ のとき、 $0 < \frac{36}{a^2-9} < 9$ より、

$$4 < s^2 < 13 \quad (2 < s < \sqrt{13}), \quad 0 < t^2 < 9 \quad (0 < t < 3)$$

よって、点 $P(s, t)$ の軌跡は右図の実線部である。



[解説]

計算量は半端ではありません。特に(3)において、1行目の変形をしなかったときは、たいへんなことになります。